

短期大学部 令和7年度 スポーツ推薦（B推薦）入学試験

1. 実施状況

(1) 志願者数、合格者数等

学科	志願者数	受験者数	合格者数
商経	4	4	4
合計	4	4	4

(2) 本入学試験の目的

「スポーツ推薦（B推薦）」は、スポーツの奨励を目的として高等学校在学中において、スポーツに優れた実績をもつ者を対象とし、特別な選抜方法により実施する入学試験です。スポーツに優れた実績をもつ学生を受け入れることで、本学部の一層の活性化を図ることを目的としています。

2. 試験内容・出題の意図

(1) 書類審査

調査書、推薦書、大会成績資料などで出願資格を充足するかを確認したうえで、志望理由書により、本学部への入学意欲や将来のキャリアの見通しや目標について、しっかり自分の意見が述べられているかを確認しました。

(2) 小論文

学生たちには、日本文化における「文武両道」の理念に基づき、大学生としての将来像と関連付けた問いが提示されました。この問いでは、スポーツ活動にも熱心に取り組む大学生として、「文武両道」が自身の学生生活においていかなる役割を担い得るか、深い理解を示すことが求められました。学生たちは、自身の見解を合理的、論理的、かつ客観的に提示することが期待されました。

(3) 口頭試問

小論文に加えて、約15分間の口頭試問を行いました。口頭試問では、2名の面接担当教員が1名の受験生に対して、事前に提出された志望理由書などにより、本学部への入学意欲やアドミッション・ポリシーに叶う者かどうかを確認しています。

3. 評価のポイント

(1) 小論文

学生たちには、「文武両道」の概念に対する理解と精通が求められました。この理解に基づき、学生生活において「文武両道」が果たす実践的かつ重要な役割について説明することが課題となりました。学生たちは、単に「文武両道」という言葉の意味を理解するだけでなく、それを基盤として、学業とスポーツの両方を重視しながら充実した効率的な学生生活を送るための計画を提示することが求められました。この提示は、論理的、客観的、かつ実践的な方法で表現されることが期待されました。

(2)口頭試問

口頭試問での評価の主なポイントは以下のとおりでした。

- ・自分の言葉でしっかり説明できているかどうか。
- ・なぜ本学部を目指そうとしたのか、それが自身の学習とどのように関連するのかどうか。
- ・入学後、何をどのように学びたいのか、学業の目標を示すことができているかどうか。
- ・自身のキャリアプランを明確に持っているかどうか。
- ・自身の強みをしっかりアピールできるかどうか。

4. 解答状況

小論文

生徒は「文武両道」という言葉の意味を深く理解していました。さらに、文武両道を基盤として、この理念を学校生活にどのように実践していくか、具体的な例を挙げて説明しました。その例は幅広い分野にわたりながらも、小論文の設問に焦点を絞った内容となっていました。小論文は論理的かつ整然とした形で書かれており、指定された文字数も守られていました。

なお、文章が生徒自身の考えを伝えていない場合や、目的や論理構成が不明瞭な場合は、大幅な減点対象となります。また、文字数や読みやすさ、句読点などの学術的な文章作法が守られていない場合も、減点の対象となります。

5. 次年度の受験生へのアドバイス

小論文については、専門知識を問うような出題は見込んでいませんが、文章を読んで、自分なりに要約する力、そしてそれを踏まえて、自分の意見をしっかりとアウトプットできる力を養っていただきたいと考えています。この力は、入学後も必ず必要になるものですので、トレーニングを積んでいただくことを期待します。

口頭試問については、覚えた内容を棒読みするのはなく、自分の言葉で、なぜ近畿大学で学ぶことを志望するのか、将来の目標のためにどう進んでいきたいのか、これらを自分の中で組み立てて、そこから派生するであろう質問を想像しながら準備していただくことが良いだろうと思います。